

特定放射性廃棄物小委員会
高橋委員長

吉田英一（名古屋大学）

今回の小委員会には、別件の出張のため出席できませんので、事前説明資料への文書にて意見／コメントの提出で対応させて頂きたく、ご了承のほどお願いいたします。

1) 文献調査報告書（案）への地層処分技術 WG からの評価と対応する NUMO 修正方針について

技術 WG からの技術的個別意見に対する修正方針については、適切に対応されていると判断します。また、技術 WG の意見取りまとめの②部分にもある「(概要調査段階において、) 処分地として適さない地点を積極的に排除していくスタンス」について文献調査報告書全体を通底する考え方として示しておくべきである、という点を事前説明時に指摘しましたが、この点について「はじめに」に明記されたことは評価できると考えます。

2) 対話活動の振り返りについて

これまでの第三者委員の意見も踏まえつつ実施してきた対話活動の振り返りについて、小委員会からの意見／コメントも再度考慮、反映させ、地域市民の方々へのお詫びも含め「振り返り」がなされていると思います。この「振り返り」で得た反省点やスキルを玄海町でのコミュニケーションに有効に活用されることを願います。

3) そのほか：科学的特性マップの「シルバー」部分の取り扱いについて

前回の小委員会の最後の段で議論となった部分ですが、今回は特に議題には入っておりませんが、再度議論になることもあるかと想定して意見として示しておきます。

今回、玄海町でのシルバー（科学的特性マップの「好ましくない特性があると推定される」部分）でも文献調査が行われることになったことについて、科学的特性マップの精度は非常にラフなため、文献調査を行うにあたって「処分地として適さない地点を積極的に排除していく」ために実施する、ということを明確に示すことが大事かと考えます。これは、将来的にもシグリーンの地域が選定されたとしても同様に、文献調査において適さない地点が確認された場合には「積極的に排除する」ということでもあり、それによって科学的特性マップ～文献調査～概要調査への一連の技術的整合性（一貫性）が維持でき、より信頼性が得られるのではないかと考える次第です。

以上